

東京都港区立神応ほっとプラザ開館



北面(メインエントランス側) 外観



エントランスホール

地域コミュニティの新たな拠点

東京都港区が同区白金6丁目の旧神応小学校跡地で整備を進めていた複合施設「神応ほっとプラザ」が、4月1日に開館した。旧教室棟を改修し、高齢者向けサービスを提供するいきいきプラザや保育園、児童クラブ、区民協働スペースなどで構成される区民施設に用途転換した。設計は港区建築設計事務所協会、施工は安藤ハザマ、小俣JVが担当した。

東京都

港区長 武井 雅昭



このたび、港区立神応いきいきプラザ等複合施設整備工事が完了し、子どもから高齢者まで「ほっと」一息つける「安全・安心」のための施設「神応ほっとプラザ(愛称)」が開館しました。

世代を超え愛される施設に

2015年3月に廃校となった旧神応小学校の校舎を最大限活用するという方針の下、地域の要望等も取り入れ、高齢者の介護予防・健康づくりや区民の交流・自主的活動の場となる「神応いきいきプラザ」、同地区の就学前人口の増加および2023年3月末で廃止となる港区三光保育室と三光児童クラブの利用児童の受け入れに対応した「神応保育園」「神応児童クラブ」、区民の地域活動の場となる「神応区民協働スペース」を整備しました。

また、建築から約50年経過した既存建物を長寿命化し現行建築基準法へ適合させるとともに、耐震強度の確保やマンホールトイレ設置等の防災機能の拡充、外周フェンス撤去による歩行空間の確保も行いました。

旧神応小学校には、地域コミュニティの拠点として機能してきた歴史があります。「神応ほっとプラザ」が、世代を超えた多くの区民の皆さまに永く愛されることを心から願っております。大規模改修工事にあたり、ご理解とご協力をいただいた近隣の皆さま、また工事関係者の方々に厚く御礼申し上げます。



保育園



区民協働スペース

設計コンセプト 旧小学校建物を改修し用途転換

神応ほっとプラザは、1921年(大正10年)6月18日に開校した旧港区立神応小学校の既存建築物を活用し、保育園、児童クラブ、いきいきプラザ並びに区民協働スペースからなる複合施設に用途転換を成した施設です。神応小学校は、港区が小中一貫教育校として「白金の丘学園 白金の丘小学校・白金の丘中学校」を開校するにあたり、2015年(平成27年)3月31日付で閉校しました。同年4月以降は、文化財等の倉庫や防災倉庫、地域の方々の町会、スポーツクラブや趣味の活動スペースとして、利用されておりました。

本事業では用途転換に合わせ、小学校のころから避難所として使われてきた既存建築物の耐震性能を、現状より1.25倍に向上させる耐震補強工事を行うとともに、保育園のエントランスロビー・事務室、階段室、渡り廊下などを増築いたしました。

敷地は、低層住宅密集地の中でも唯一広くまとまり、地域の公園のように大きな天空が望め、開放感を味わえる場所で、緑豊かな地域の公園のようになしつらえを目指しました。

周辺には、この小学校で学ばれた方々が多く住まわれていることもあり、記憶を継承するため、敷地内の既存の校舎は、できる限り保存しました。北側の施設出入り口周りにつきましては、旧校舎の門柱を保存し、外壁面は門柱のれんが積みモチーフとした意匠としました。

建築物の外装に使用する色は、住宅街の中に立地することに配慮し、オフホワイトを基調としました。各所の設備置き場には、空調機等を露出させないよう人工木材のルーバーを設置しております。

既存建物を活用することにより、廃棄物の削減、二酸化炭素排出量の低減など地球環境への負荷を抑制しています。また、みなとモデル二酸化炭素固定認証制度における協定木材を、床フローリング材、造り付け家具など各所に採用しており、アップグレード値1(★★)を取得しています。評価の対象は増築部の材料ですが、既存建物側のフローリング材にも協定木材を採用しています。

神応ほっとプラザが、一層地域の方々に親しまれ、年少者から高齢者までの各世代が集い、交流・交感を図る場施設となることを期待しています。

一般社団法人港区建築設計事務所協会 理事 (株式会社エンドウ・アソシエイツ代表取締役) 加藤 峯男(総括責任者)

施工のポイント

旧神応小学校の教棟は、1967年(昭和42年)に竣工した、1階を資材置き場や工事増設が行われたRC造4階建ての建物。本工事は、旧教室棟を行政サービス向けの施設に改修する。旧運動場に小規模な建物を3棟新築した。既存建物用途転換するコンバージョン工事は、骨組みを残して既設の内装を解体し、補修・補強を行った。後に新たな用途に応じた内装に仕上げるため、新築と比べ、工期が短縮された。また、耐震壁や鉄骨ブレースなど補強し、部屋割りも一部変更した。

新設の内装工事にあたっては、1階を資材置き場や工事事務所スペースとして活用するため2階から順に4階まで施工し、最後に1階を仕上げた。苦慮したが元の設計図と実際の納まりの不具合、安藤ハザマJVの田原和幸所長は「スケルトン状態にしていく過程で図面通り納まりが良くなった」というのが本音で、原所長は「実際に形にできて良かった」というのが本音で、近隣の皆さまは「いろいろ迷惑をおかけしましたが、区施設をつくる工事に非常に好意的でした。ご理解、ご協力に感謝いたします。また発注者、設計者、協力会社の方々にもお礼申し上げます。この施設が、大勢の区民に喜んで利用していただけることを期待しています」と竣工を迎えた思いを述べた。

工程、動線工夫し作業効率向上

旧神応小学校の教棟は、1967年(昭和42年)に竣工した、1階を資材置き場や工事増設が行われたRC造4階建ての建物。本工事は、旧教室棟を行政サービス向けの施設に改修する。旧運動場に小規模な建物を3棟新築した。既存建物用途転換するコンバージョン工事は、骨組みを残して既設の内装を解体し、補修・補強を行った。後に新たな用途に応じた内装に仕上げるため、新築と比べ、工期が短縮された。また、耐震壁や鉄骨ブレースなど補強し、部屋割りも一部変更した。

■ 工事名称:	(仮称) 港区立神応いきいきプラザ等複合施設整備工事
■ 工事場所:	東京都港区白金6丁目9番5号
■ 建築主:	港区
■ 敷地面積:	4,834.57㎡
■ 建築面積:	1,910.70㎡
■ 延床面積:	4,453.91㎡ (増築部434.76㎡、用途変更部分409.15㎡)
■ 構造:	【既存部】RC一部S造(本棟)、SRC造(体育館)【増築部】RC造(本棟、運動場棟)、アルミニウム構造(渡り廊下)
■ 階数:	本棟/4階、体育館/2階、運動場棟/1階、渡り廊下/1階
■ 設計監理:	一般社団法人港区建築設計事務所協会
■ 施工者:	建築/安藤ハザマ・小俣建設共同企業体 機械/富士設備工業株式会社 電気/不二工業株式会社 昇降機/株式会社日立ビルシステム
■ 工期:	2021年6月19日～2023年3月29日

建築工事 安藤ハザマ・小俣建設共同企業体

安藤ハザマ
東京都港区東新橋 1-9-1 電話 03(3575)6001

株式会社 小俣組
KOMATA
横浜市南区新川町 5-28 電話 045(251)3707

機械設備工事

富士設備工業株式会社
東京都港区西新橋 3-6-5 電話 03(3434)2371

電気設備工事

不二工業株式会社
東京都港区西新橋 1-14-12 電話 03(3591)1541

■ 測量・墨出し工事
株式会社 IS
横浜市中央区長者町2-5-18 電話 045(228)7505

■ 建設資材一式
安藤ハザマ興業 株式会社
東京都江東区亀戸1-38-4 電話 03(5626)7152

■ フローリング工事・二重床工事・OAフロア工事
伊豆商事 株式会社
東京都墨田区立川3-4-6 電話 03(3634)1531

■ 家具工事
株式会社 イワダテ
千葉県成田市美郷台2-26-27 電話 0476(22)7911

■ 左官・耐震補強工事
株式会社 エフエスケー
埼玉県川口市幸1130-2 電話 048(296)2451

■ 左官工事
株式会社 サンセイ
横浜市鶴見区矢向3-9-24 電話 045(573)4133

■ 金属製建具工事
三誠産業 株式会社
東京都中央区日本橋茅場町3-12-9 電話 03(6810)9331

■ アルミ製建具工事
第一サッシ工業 株式会社
千葉県若葉区小倉町1248-1 電話 043(231)6611

■ 仮設ハウス・備品リース及び販売
大東ハウス 株式会社
東京都豊島区要町1-4-11 電話 03(3530)7711

■ 金属屋根葺替工事
竹内板金工業 株式会社
東京都国立市泉3-26-1 電話 042(575)3355

■ 杭工事
千代田工営 株式会社
さいたま市大宮区上小町940 電話 048(642)5252

■ 嵩工事
株式会社 テラサワ
千葉県柏市北柏4-1-3 電話 04(7163)4101

■ 耐震補強工事
株式会社 東邦アーステック
東京都新宿区新宿2-13-10 電話 03(5367)2661

■ 型枠工事一式
有限会社 栃木組
川崎市宮前区潮見台13-2 電話 044(976)7714

■ ALC工事
峰栄工業 株式会社
東京都中央区日本橋3-15-3 電話 03(3271)3197

■ 内装工事
株式会社 ワークス
東京都大田区萩中3-18-13 電話 03(5735)6686